

何を笑うかによって 人柄がわかる

5月のいじめ防止「きずな」キャンペーン 生徒集会から考える

新学期が始まって、数週間が経過しようとしています。どの学年の生徒も頑張ろうという雰囲気がよく分かります。皆さんと同じように、先生方も一生懸命です。長町中全体でよい方向に進んでいくことが望ましいですね。

ところで、5月2日(水)、生徒会事務局が主体となって、いじめ防止『きずな』キャンペーンに関する全校集会が行われました。その中で、いじめの本質は**よどんだ空気**という話がありました。内容的にも素晴らしい集会だったと思います。

4、5月は、新しいクラスに慣れようとしたり、特に1年生は、部活を決めたりとエネルギーを使う時期でもあります。あらゆる事が新鮮で、また珍しく、そして何より「新しい年度になり、頑張ろう」と決意を新たに作る時期でもあるだけに心身の疲労やストレスも心配です。

疲労やストレスが溜まると、大人でもそれを上手に処理していくことが難しい時があります。自分自身をコントロールできていない時、上手くいかなかった時、心身が不調の時など、人に優しくできない事があり、ついつい人間のよくない部分が顔を出してしまうことがあります。そのような時に、一番心配されるのが、自分のイライラを他者に八つ当たりして解消したり、人の行動を笑ってみたり、失敗を攻撃したりしてしまう事です。皆さんにもそんな経験はありませんか。

人の失敗を笑ってしまう、人が頑張っている姿をからかってしまう、人の成功を妬ましく思ってしまう、正しい行為を笑ってしまう、集団のなかで、そのような雰囲気や場面が見られるようになる、いじめの兆しとも言えます。まさしく**よどんだ空気**の蔓延です。そうになると、人を傷付ける行為が見て見ぬふりをされ、人が嫌がる行為が認められるようになってしまいます。そして、集団の中に健康的な笑顔や本来の明るい笑いはなくなり、人を馬鹿にしてみんながそれを笑うというとても悪い雰囲気や空気その場を支配してしまいます。

ここで、一度自分自身の事、クラスの雰囲気、部活動の雰囲気などを振り返ってみてください。皆さんの身近な集団はどうでしょうか。いじめに関する集会、部活動への意欲、校外学習、職場体験、修学旅行等の準備、そして毎日の授業。長町中に、これまで以上に、良い行動、良い活動が認められ、それに参加していくという雰囲気が大きくなり、いじめをつつみこんでしまうような学校になっていくとよいと思います。いじめを0にするという事と同じように大切なのは、いじめをつつみこむような空気だと思います。

ある有名な方が次のような言葉を残しています。

何を笑うかによって 人柄がわかる

笑うことができるのは、生物の中で人間だけと言われています。チンパンジーやゴリラなども「笑う」と言われていますが、そこに何らかの心理的意図を含めて笑うのは、人間だけのようです。皆さんの身近な集団では、何に笑い、何に笑顔を見せているのでしょうか。人を傷付ける行為、人を馬鹿にする行為、みんなで人をからかって笑う行為、そんな集団になっていないか、確認してください。よい空気で学校をつつみこむ事が大切ですね。5月2日に実施された生徒主体の素晴らしい集会をみんなで再確認してみましよう。